

平成20年 3月27日

成果報告書

実施 市区町村 名	奄美市				
代表市区 町 村長名	奄美市長 平田 隆義				
事業名称	奄美の健康な暮らしに根差したビジネスモデル構築事業				
契約額	55,999,765 円				
事業実施 概要	消費者・生産者が利用するポータルサイトを設立し、地域資源を活かした新しいアイディアに基づいた商品に対する科学的な評価及びその商品が持つ付加価値をユーザーに周知するとともに、対象購買層のターゲティング等に関するサポートシステム、健康や美味しく安全なものへのニーズを開発商品購入に結びつけるためのシステムを構築し、奄美内外の住民に奄美が持つ地域資産の価値を伝える。				
目標の達 成状況	指 標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出典等
	生産者ポータル サイト登録者数	50名	10名	△	システムにより集計
	消費者ポータル サイト登録者数	50名	20名	△	システムにより集計
	分析システム利 用者	10件	0件	×	システムにより集計
	生産者、消費者 ポータルサイト 登録者からの調 査等を踏まえて の利用者満足度	60%以上	0%	×	調査できず
	達成できなかった理由（△又は×の場合）				
	総務省との契約後、早急にシステム構築・調査業者の選定等を行なったが、正式に契約及び事業着手したのが9月3日であった。そこで、委託業者だけでなく再々委託（フラッシュ製作等）をして年度内早期の完成を試みたが、構築までの時間が短く正式公開が遅れたため、本システムの登録者数が上記のとおり目標値を下回った。（生産者ポータル、消費者ポータルともに） よって、登録者による分析システムの利用及び満足度調査までには至らなかった。 来年度早い段階で19年度の目標値を達成させるとともに20年度の目標値も達成する。				

注）成果の達成状況欄には○（達成）、△（一部達成）、×（全く達成されていない）を記入すること。

注）合計3枚まで。

<委託業務説明書>

1 平成19年度事業実施において明らかとなった課題

【課題1：年に数回の協議会の開催だけでは地域住民の本音を聞きだすことが難しい】

協議会は、地域住民の意見集約の場としては非常に有効であるが、参加者が協議会のゲストとしてのきれいにまとまった意見に終始してしまう場合もある。

【課題への対応】

上記課題への対応として、あまみ WAVE コンソーシアムの自主企画として、これまでにリストアップされた地域資源や体験メニューのニーズ評価を目的として、東京・福岡・鹿児島本土・島民を対象とするツアーを実施し、ツアーメニューの企画・実施に協議会メンバーを最大限取り込むことで、様々な立場からの意見を取り入れることができた。

【課題2：事業のテーマに合致するような地域資源の発掘と商品化には時間がかかる】

本ポータルは「健康」をテーマにしているが、事業初年度の段階では新規性・独自性の高い商品やサービスの発掘は困難な面も多く、「科学的な立証」を含め、次年度以降にかけてデータの収集や体制の整備などが必要となっている。

【課題への対応】

奄美市では、これまでも「健康・長寿」に関する様々な調査・研究の実績があり、また市の別事業でも地域ブランドの展開や産業クラスターの創出など本事業と関連性のある事業が推進されている。

様々な情報の発信窓口という意味での「ポータルサイト」であることから、オリジナルの商品開発と同時にこれら他事業で展開されている商品・サービスを取り込み紹介する場としての機能の充実化を目指している。

【課題3：健康分析システムに該当するデータを収集することに時間がかかる】

健康分析システムで必要となる健康と気象条件のデータを検討したが最適なデータが無かった。

また、科学的根拠付けをすることで医学的な見地でのデータも必要となることからデータ取りに時間がかかった。

【課題への対応】

次年度1年間かけて、市役所職員及び公募をかけて健康と気象条件の因果関係についてのデータ取りをする。このデータから生気象学や医学との連携により今までにない科学的根拠を付与した情報を提供できるようになる。

2 自立的・継続的運営の見込み

【採算面における自立・継続】

地域住民の健康的な生活の啓蒙を目的する「one point アドバイス」サービスについては、健康診断受診率の向上を目指す国の施策目標とも合致すること、また亜熱帯特有の気候と生活スタイルが深く係わり合いを持っている奄美の地域性からも事業化の可能性は高いと考えられる。

ただし、サービス開始に当たっては、市民の健康データの収集・分析、システム構築、医療機関等との協力体制確立等にある程度の時間がかかるものと想定される。

「癒しと鍛錬のツアー」については、今年度実施したモニター実験結果から評価や分析結果をポータルにアップしサイトの充実を図るとともに、今後のビジネスモデル事業として検討をした。その結果、他地域における導入事例をみても中高年をターゲットとして需要はあると考えられるが、ポータルサイトにおけるツアー・メニュー紹介、ツアー会社への斡旋等でどの程度の採算性を確保できるかを引き続き検討していく必要がある。

生産者と消費者の共同商品開発の場である「あまっちゃんぐ」については、前述の地域ブランド展開や産業クラスター等との共同によりアイテム数を増やすことは可能であるが、やみくもに紹介・販売するのではなく、協議会等の場での「お墨付き」を与えた商品のみを紹介するなど、希少性や付加価値化を考えていく必要がある。

【組織としての自立・継続】

あまみ WAVE コンソーシアムの構成メンバーである地元 NPO が今後の自立・継続の担い手として有力であると考えられるが、離島振興のノウハウや「気象」や「健康」に関する専門知識等については、単独での自立・継続は難しい。時限的にでも本事業を推進する別組織の立上げも視野に入れつつ島民を中心とした自立・継続のための基盤づくりを今後も進めていく必要がある。

3 今後の展開方針

「しまんちゅ mosaic（奄美の人材・地域資源紹介）」、「食材集・レシピ集」、「健康図書館」等の無料サイトについては、引き続き情報収集を行いコンテンツの充実化を図る。

「one point アドバイス」、「癒しと鍛錬のツアー」、「あまっちゃんぐ」等のビジネス化を目指すサイトについては、販売アイテム数を増やしつつテーマにあった商品の選別を行うとともに、協議会等の場において参加協力体制・供給体制の確立を目指す。

またインターネット上でのサイトの普及・PRのみならず、リアルでのイベント開催等を通じて、サイトそのものの紹介や参加者の募集、商品・サービスの紹介等を引き続き行っていく。

* 本年 5 月末に福岡市で行われる黒糖焼酎イベントにおいて、奄美の食材・ライフスタイルなどを幅広く紹介する企画を計画中

注) 必要な場合には補足説明図 (A4 判) 等を添付すること。

<システム設計書>

1 概要

■健康の秘訣分析システム（＋気象や健康に関するデータベース）

（主な機能）・奄美の地域資産（風土、生活様式）の全国との比較と優位性の評価

- ・風土、生活様式の実践による生体機能向上への効能評価
- ・奄美と気象条件等の似ている地域の風土産業の検索

（保守・更新について）

* ユーザー（事業者、消費者）には、web アプリケーションとしてソフトを提供し、開発者側で随時変更・更新された最新の分析システムを提供する。

■生産者ポータルサイト

（主な機能）・事業者の商品化アイデアのリスト表示、詳細表示

- ・開発中（共同開発含む）の商品リスト表示、詳細表示
- ・事業化した商品リスト表示、詳細表示
- ・上記に関する奄美ファン、消費者、事業者間の情報交換
- ・生産者ポータルについては、協議会や個別部会等への生産者を通じて、コンテンツの更新やシステムの使い勝手等について随時更新を行う。

■消費者ポータルサイト

（主な機能）・商品リスト表示

- ・商品の物語（開発過程）、科学的評価等の詳細表示
- ・モニターによる評価結果表示
- ・上記に関する事業者、奄美ファン、消費者間の情報交換
- ・消費者ポータルについては、地域 SNS 内にシステムの使い勝手等に関するコミュニティを立上げ、意見の吸い上げを行う。また、一般消費者については、同様にアンケート等で商品に対するニーズとともにコンテンツや使い勝手等の把握とその結果を受けた更新を行う。

2 運用結果

1 月から本番環境を想定したテスト公開を行った。

1 月～2 月：2 月下旬協議会用モック版の公開（コンソーシアム内での打ち合わせ用、開発用）

コンソーシアムメンバーと実際にサイトを確認しながらコンテンツの打ち合わせを行う。

3 月：あまっちゃんコンテンツに限り公開した。クロスリンクにて会員募集や商品の出品を行なった。

3 月 21 日現在の登録者数は、消費者会員 15 名、生産者会員は 5 社

商品の登録数は、クロスリンク参加企業からの出品で 9 品登録

サイトアクセス分析に関しては、正式公開の 4 月 1 日～取得するようにしておりますので現時点では、把握することができない。

運用に関して、不具合に関しては、現時点ではなし。

3 課題・改修の必要性

○トップページ

- ・ポータルサイトとして外部リンクの充実化

○癒しと鍛錬のツアー

- ・一集落 1 ブランド事業との体験メニュー連携
- ・ツアー問い合わせに対するシステム化
（現在、定員に満たしてもツアー募集は公開されたままである。）

○しまんちゅ Mosaic

- ・当コンテンツ内に登録された商品購入の最適化
- ・一集落 1 ブランド事業との連携機能

○健康図書館

- ・食材と気象をからめたデータマイニング

○健康天気予報

- ・現在、天気図やコメント入力は手動で行われているが、アルゴリズムを用いた情報入力の自動化が必要
- ・健康コメントで使用された成分など気象とからめた商品の紹介と購入が行える機能

○あまっちゃんぐ

- ・和歌山県北村の「村ぶろ」をモデルとした直販サイトへのリンクやバーチャル住民の応募などを行う機能。市内部においても観光課や農林振興課との連携を密にするもの
- ・外部機関管理下において商品購入の一括管理機能
お買い物かごや決済機能など
- ・商品購入者・閲覧者のマーケティング分析機能

○健康レシピ

- ・下ごしらえの動画もしくは静止画による公開
- ・使用されている食材や関係する食品の購入が簡易に行えるシステム化

4 その他

(1) 活用したネットワーク種別・伝送速度

ベストエフォート型による光回線(最大 1000Mbps)を使用。またバックアップ回線としてベストエフォート型による ADSL 回線(最大 12Mbps)を使用。

(2) 関連する既存の情報通信システムとの連携状況

地域 SNS「ま〜じんま」と当サイト「奄美生活」News との RSS 連携

(3) 地域情報プラットフォームへの準拠の有無

無

5 システムの詳細

添付書類参照

注) システム関係の添付印刷物は 1 部のみ提出。必要な場合には補足説明図 (A4 判) 等を添付すること。

<実施体制説明書>

1 実施体制

奄美の健康な暮らしに根ざした
ビジネスモデル構築協議会

科学的分析部会

- 1 鹿児島大学医歯学研究科
- 2 琉球大学教育学部
- 3 大島郡医師会 奄美支部
- 4 大島支庁保健福祉環境部
- 5 奄美市商工水産課
- 6 奄美市健康増進課

地域資産発掘部会

- 7 食生活改善推進員連絡協議会
- 8 ゆていもれ
- 9 あしたば村
- 10 サン奄美
- 11 (株)アマミファッション研究所
- 12 奄美市農林振興課

都市ニーズ発掘部会

- 10 奄美大島観光物産協会紬特産部会
- 11 奄美大島観光物産協会観光部会
- 12 奄美市企画調整課企画調整係
- 13 奄美市紬観光課

システム検討部会

- 14 奄美市企画調整課情報政策係
- 15 奄美市企画調整課広報係
- 15 システム委託業者

2 各主体の役割

NO	名 称	役 割
1	奄美市商工水産課	プロジェクト全体統括 奄美の商品開発、新産業創出等に関する知見提供
2	奄美市健康増進課	食や生活様式と健康に関する知見提供
3	鹿児島大学医学部	健康、生体機能に関する知見提供
4	琉球大学教育学部	食や生活様式と健康に関する知見提供
5	大島郡医師会奄美支部	健康、生体機能に関する知見提供
6	大島支庁保健福祉環境部	奄美長寿に関する知見提供

7	奄美市農林振興課	奄美の地域資源に関する知見提供
8	鹿児島県食生活改善推進員連絡協議会 名瀬支部	奄美の郷土食、文化に関する知見提供
9	ゆていもれ	奄美の農林産物に関する知見提供
10	あしたば村	奄美の農産物に関する知見提供
11	サン奄美	奄美の農産物に関する知見提供
12	(株)アマミファッション研究所	奄美の地域資源の活用方策に関する知見提供
13	奄美市企画調整課 企画調整係	各種調査の企画立案に関する知見提供
14	奄美市紬観光課 紬特産係	販路、都市ニーズに関する知見提供
15	奄美大島観光物産協会 紬特産部会	販路、都市ニーズに関する知見提供
16	奄美大島観光物産協会 観光部会	販路、都市ニーズに関する知見提供
17	企画調整課 情報政策係	システム全体統括
18	企画調整課 広報係	消費者ポータルサイト支援，当システムの広報全般

注) 必要な場合には補足説明図（A4 判）等を添付すること。

注) 協議会の開催要項・議事要旨を添付。

事業実施進行表

[illegible]